

第 6 章
推進の仕組み



第6章 推進の仕組み

1 推進の仕組み

重点方針については『北区公園魅力向上推進プラン』に基づき、取組み内容や実施時期などを具体化します。また、リーディングプロジェクトは、3か年での事業計画を設定します。リーディングプロジェクトは、3年ごとに進捗状況の評価を行い、見直しを図ることとします。進行管理を行うとともに、内容の点検や、国・東京都など関連機関との調整を行います。

2 進行管理

本構想に基づく施策の実施にあたっては、事業のあり方や、構想の内容について継続的な向上を図ることが必要です。そのため、推進プランでは、以下のような進行管理を行うこととします。

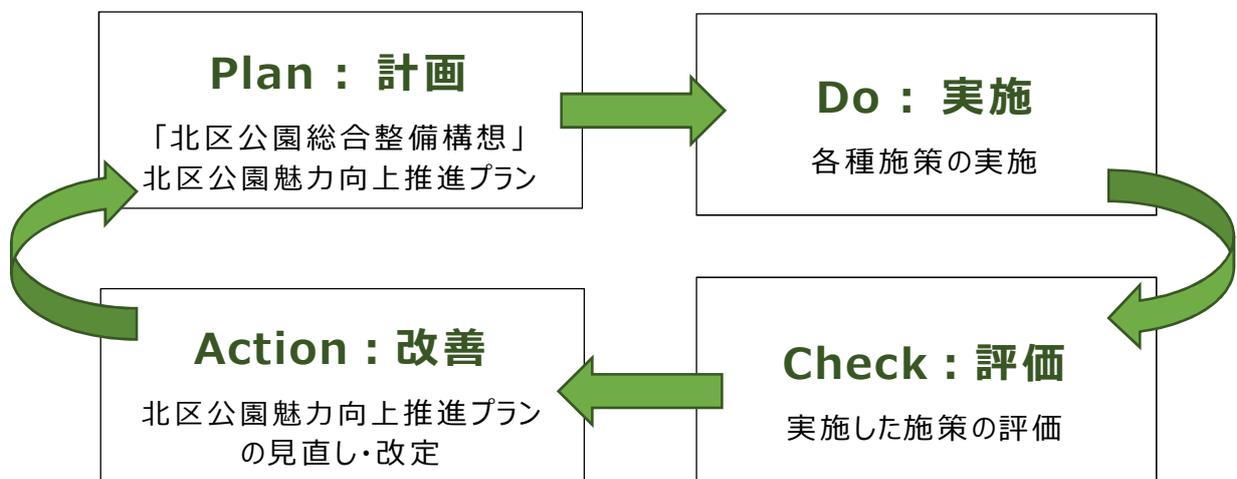


図 - 32 : 進行管理

3 住民参加のあり方

(1) 目的

多様化する住民のニーズや公園ごとの課題に柔軟に対応するため、近年の公園づくりでは、様々な事業段階において、適切に住民意見を聴取することが重要となっています。

北区では、「区民とともに」を基本姿勢に、協働の精神のもと、区政を推進しています。公園整備においても、住民参加を推進することで、その後の管理や運営における地域住民と行政の関係を継続的なものとし、公園の活性化や、安心・安全快適な公園を確保することを目指します。



(2) 住民参加の方法 ～（例）新設整備・再生整備時～

公園の設計・整備から開園後の管理・運営における住民参加の方法を以下に示します。

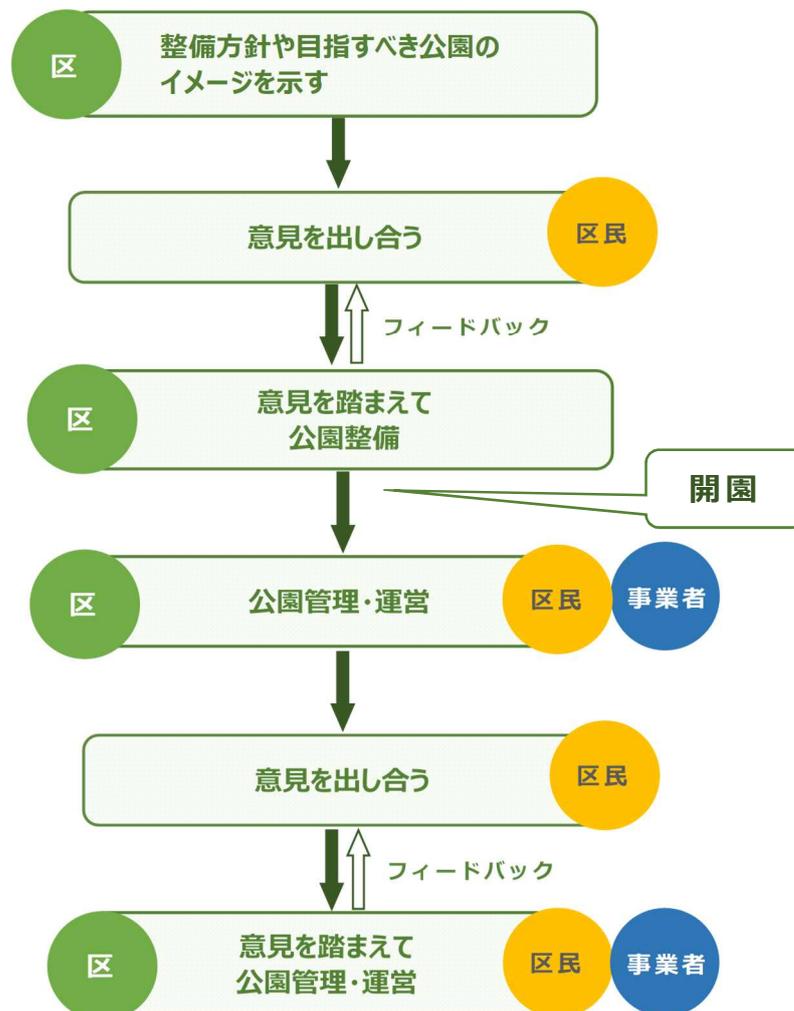


図 - 33 : 設計・整備から開園後の管理・運営における住民参加の方法

用語解説

用語	解説
あ行	
味の素ナショナルトレーニングセンター (P.14)	スポーツ医・科学・情報研究機関である「国立スポーツ科学センター（JISS）」と一体となった国際競技力向上のための強化活動拠点。北区西が丘と赤羽西に立地している。
いっとき集合場所 (P.11)	災害に伴う延焼火災が迫り、避難の勧告・指示が出された場合、近隣居住者の安否確認、まちの安全確認を行う一時的な集合場所。
インクルーシブな公園 (P.11)	障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちが安全に、一緒に楽しむことができる公園。
オープンスペース (P.2)	公園、緑地、河川敷、街路空間や駅前広場などの、建物によって覆われていない土地の総称。加えて、宅地内にある広場や歩行者空間、緑地として整備された空間や隣りあう建築物の間の空地などを指す。
か行	
崖線 (P.11)	台地と低地の境界に連続して存在する崖地のこと。崖線には湧水が多く、親水空間や、野鳥・小動物の生活空間として貴重な自然地となっていることが多い。
環境学習施設 (P.66)	区民が花やみどりとのふれあいなどを通して、楽しみながら自然環境への理解を深めるための施設。「自然ふれあい情報館」と「みどりと環境の情報館（エコベルデ）」が設置されている。
北区アンバサダー (P.51)	北区にゆかりのある著名人・文化人に、「北区アンバサダー（大使）」を委嘱し、区の魅力をPRしてもらうことで、北区の知名度や文化的なイメージを高めていくもの。
北区美化ボランティア制度 (P.28)	「花＊みどり」・やすらぎ戦略のひとつとして、道路・公園・駅前広場等の清掃や花壇・プランターの維持管理を、区内在住、在勤、在学者で構成される団体と協働で実施する制度。

グリーンインフラ (グリーンインフラストラクチャー) (P.3)	自然環境が有する多様な機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制など）をインフラ整備や社会における様々な課題解決に活用しようという考え方。
景観重要公園 (P.11)	「北区景観づくり計画」によって位置付けられた、地域の景観を構成する重要な要素となっている公園。現在、旧古河庭園、飛鳥山公園、清水坂公園、名主の滝公園、赤羽自然観察公園、荒川赤羽桜堤緑地、中央公園が指定されている。
公園管理サポーター制度 (P.59)	公園で行われるイベントや清掃活動、マナーアップ運動など、さまざまな活動で公園運営をサポートするボランティア制度。
洪水浸水想定区域 (P.13)	河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域で、河川等管理者である国または都道府県が指定する。
さ行	
自然樹形 (P.64)	自然に活着し、自然のまま成育した樹木のこと。その木の持つ性質のままに育つため、活着した場所の自然環境に影響されやすい。
指定管理者制度 (P.4)	2003年の地方自治法改正に伴い創設された制度。公の施設について、地方公共団体の指定を受けた指定管理者がその管理を代行する。
住区基幹公園 (P.7)	歩いていける範囲の居住者が利用することを想定した公園。利用が想定される住民の居住範囲によって、さらに「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」の3種類に分けられる。
集中豪雨対策 (P.63)	梅雨前線の停滞や台風の接近などで、狭い範囲に数時間に渡って大量の雨が降る集中豪雨に対する対策。北区では、小中学校などをはじめとする公共施設に雨水流出抑制対策工事などを行っている。
ストックマネジメント (P.12)	施設や構造物などの最大化・最適化を目的とし、既存施設や構造物の有効活用や長寿命化によって、長期的な管理費用の低減を図る手法。
生息地（ハビタット） (P.39)	野生生物の食べ物や隠れ場所などを備えた生息環境。

た行	
太陽光パネル (P.63)	太陽光で発電を行うためのパネル。
都市基幹公園 (P.7)	区全域の住民が利用することを目的とした公園。用途や規模により、さらに「総合公園」、「運動公園」の2種類に分けられる。
透水性舗装 (P.50)	舗装の上部層から下部層まで全体が水を通すタイプの舗装。雨水を地中に還元する性質をもち、街路樹などの水循環環境の育成や、雨水の流出を抑制する効果があるとされている。
ドッグラン (P.35)	犬をリードにつながずに、放して自由に運動・遊ばせることのできる場所や施設。
な行	
ネーミングライツ (P.62)	区の保有する施設に、企業名や商品名などを名称として付与する権利で、「命名権」とも呼ばれる。ネーミングライツパートナー（命名権購入者）は、対価として命名権料を区に支払うことで、施設の維持管理・サービス向上の財源として活用される仕組みとなっている。
は行	
バリアフリー (P.4)	多様な人が社会に参加する上での障壁をなくすこと。近年では、高齢者や障がい者などの円滑な移動及び建築物等の施設の円滑な利用を確保するための整備だけでなく、各人が多様な人のことを思いやるこころのバリアフリーの考え方が広がっている。
ビオトープ (P.28)	北区では、身近な自然環境教育の教材として、子どもたちにとって身近な学校や環境学習施設などに設けられた、地域在来の昆虫や動物などの生きものが暮らすことのできる草地や池などの空間のこととしている。
避難場所 (P.11)	自宅や事業所、地域にいたることが危険な場合に避難する場所。
フリーWi-Fi (P.63)	公共の場において、誰でも利用できるよう無料で提供・開放されている無線 LAN (Wi-Fi) サービス。

プレーパーク (P.59)	子ども達が自分の責任で自由に遊ぶことにより自主性や創造性を育み、大人も子どもも外遊びを通して触れ合いを深めるために実施する事業で、区内公園等において実施する、泥んこ遊び、水遊び、穴掘り、焚き火、かまど料理、釘刺し遊びなど自由に遊ぶことができる場所。
防火植栽 (P.50)	樹木の防火機能を利用し、火災の延焼を防ぐために植えられた植栽のこと。
防災ネットワーク (P.11)	公園、未利用地、水路など様々な空間を、都市の防災機能を高めるためにネットワーク化し、活用すること。
ま行	
マーケットサウンディング調査 (P.27)	自治体などが、公共施設の整備や運営、公的不動産の利活用などの事業検討段階において、民間事業者の意見や新たな提案等を、対話を通じて把握し、新たな事業案件の形成や事業の進展を図る市場調査・情報収集のこと。
緑のネットワーク (P.50)	緑の連続した空間や拠点などからなる骨格軸を基盤とした、面的な緑の広がり。緑のネットワークを形成することで、緑の持つ機能を複合的・効果的に発揮させることが可能になると考えられている。
や行	
やさしい日本語 (P.61)	日本語母国語者が外国人（日本語を母語としない人）とコミュニケーションをとるときに、自分たちのことばをわかりやすいように調整を加えた日本語のこと。高齢者や障害のある方にも活用できると考えられている。
誘致圏 (P.19)	その公園を利用する人の範囲を表す距離のこと。公園の配置計画においては誘致距離を表す円によって、その区域がほぼ覆われるように配慮することとされている。
ユニバーサルデザイン (P.11)	障害の有無、年齢、性別、国籍、言語、文化、個人の能力等にかかわらず、はじめからできるだけ多くの利用可能なように、都市や環境をデザインすること。

ら行	
ライフサイクルコスト (P.12)	建築物の企画から解体まで、建築物の生涯にわたり必要となる費用のこと。具体的には、建設費、光熱水費、保守費、修繕費、改修工事費、解体費を総計したもの。
ライフスタイル (P.2)	生活様式や営み方。人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方も含まれる。
リース契約 (P.62)	契約期間に依じて、月単位でリース料を支払う、物の調達方法の一つ。一般的に、レンタルに比べ中長期での借用が多い。
わ行	
ワークショップ (P.24)	地域にかかわる様々な立場の人が自ら参加し、地域社会の課題を解決するための話し合いをグループワーク形式で行う、意見交流会のこと。
A～Z	
LED (Light Emitting Diode) (P.65)	電気を流すと発光する半導体の一種で、発光ダイオードとも呼ばれている。白熱灯や蛍光灯と比べ、低消費電力で長寿命であるとされている。
Park-PFI (P.3)	公募設置管理制度。飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募による選定する制度。
PFI (Private Finance Initiative) (P.4)	公共施設などの設計、建設、維持管理および運営などに民間の資金、経営能力および技術的能力を活用する手法。PFIを用いて実施される事業をPFI事業と言い、PFI事業の実施により、効率的かつ良質な公共サービスの提供や、民間の事業機会創出を通じた経済の活性化などが期待される。
SNS (Social Networking Service) (P.67)	交友関係を構築するWebサービスの1つ。個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービス。